

住 宅 改 修 が 必 要 な 理 由 書

<基本情報>

利用 者	被 保 険 者 番 号		年 齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女
	被 保 険 者 氏 名		要介護認定 (該当に○)	要支援 １・２ 要介護 １・２・３・４・５ ※申請中の場合 新規・区分変更・更新							
	住 所	渋谷区									
	家屋の形態	☐ 戸建て （持・借） ____階建の ____階で主に生活 / トイレ ____階・浴室 ____階 ☐ 集合住宅 （持・賃）									
	同 居 家 族	☐ 単身世帯 ☐ 夫婦のみ ☐ その他（ ）									
	住宅改修の 履 歴	☐ 無 ☐ 有（ 年 月頃）改修箇所（ ）									
	利 用 中 の サ ー ビ ス	☐ 訪問介護 ☐ 訪問看護 ☐ 訪問リハ ☐ 通所介護 ☐ 通所リハ ☐ その他 ☐ 利用無（ ☐ 入院中〔退院予定日 ____/____〕 ☐ 検討中 ☐ 検討無し ☐ 利用者拒否 ）									
	生活状況	入 浴 ☐ 自宅（ ☐ 自立 ☐ 介助有 ） ☐ 介護施設等 / 排 泄 ☐ 自立 ☐ 介助有									

理 由 書 作 成 者	現 地 確 認 日	年 月 日	作成日	年 月 日
	所 属 事 業 所			
	事 業 所 番 号			
	氏 名	連絡先:		
理由書作成者資格	☐ 担当ケアマネージャー ☐ 地域包括支援センター職員 ☐ その他（ ）			

※ケアプランの作成者 理由書作成者とケアプラン作成者が異なる場合に必ず記入すること

ケ ア プ ラ ン 作 成 者	私は、利用者の担当ケアマネージャーとして、住宅改修の必要性を確認しており、理由書の記載内容が利用者の身体状況、生活状況と相違ないことを確認しました。また、利用者に対し、複数事業者から見積もりを取るよう説明しました。 年 月 日 氏 名(自 署)		
	所 属 事 業 所 名		現地確認 ☐ 有（ 年 月 日） ☐ 無 (理由)
	事 業 所 番 号		

保 険 者	確認日	年 月 日	評 価 欄	☐ 理由書の内容から、当該住宅改修は介護保険給付対象として適当と認められる。 ☐ 利用者の身体状況・生活動作と改修内容の関連性が確認できる。 ☐ 過剰改修ではなく、改修理由に妥当性が認められる。	【補足意見】
	氏 名				

リハビリ職の助言
☐ 無 ☐ 有（ ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士）

< 総 合 的 状 況 >

利用者の身体状況		福祉用具の現状の利用状況と 住宅改修後の想定		
		改修前	改修後	
		● 車いす	☐	☐
		● 特殊寝台	☐	☐
		● 床ずれ防止用具	☐	☐
		● 体位変換器	☐	☐
		● 手すり	☐	☐
		● スロープ	☐	☐
		● 歩行器	☐	☐
		● 歩行補助つえ	☐	☐
		● 認知症老人排拒感知機器	☐	☐
		● 移動用リフト	☐	☐
		● 腰掛便座	☐	☐
		● 特殊尿器	☐	☐
		● 入浴補助用具	☐	☐
		● 簡易浴槽	☐	☐
		● その他		
		・	☐	☐
		・	☐	☐
記載のポイント	立ち上がり、移動、姿勢の保持などの生活動作に関する身体状況を記載すること。既往歴がある場合は疾病の発症からの経過期間や入退院の状況などを具体的に記載すること。さらに、屋内、屋外での移動方法も必ず記載すること。			
介護状況				
記載のポイント	各種サービスの利用状況に加え、家族の介護状態も記載すること。見守り程度であっても記載すること。			
住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか				
記載のポイント	利用者や家族が住宅改修によって現在の暮らしをどのような変えたいのか、または継続していきたいのかなどを、リハビリ職等の判断も踏まえたうえで、総合的に記載すること。（本人の希望を書くのではなく、希望を踏まえたうえで改修の必要性について記載すること。） また、改修後の効果についても記載すること。			

＜PIの「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。＞

①改善しようとしている生活動作		➡	②①の具体的な困難な状況(・・なので・・で困っている)を記入してください		➡	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針を記入してください(・・することで・・が改善できる)		➡	④改修項目(改修箇所)		写真・等
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入 (扉の開閉含む) ☐ 便座からの立ち座り (移乗を含む) ☐ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他()			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ 必要最小限の改修内容として実施 ☐ その他()			☐ 手すりの設置 () () () ()		番 番 番 番		
	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入 (扉の開閉含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) ☐ 浴槽の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴槽内での姿勢保持 ☐ その他()			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ 必要最小限の改修内容として実施 ☐ その他()			☐ 段差の解消 () () () ☐ 引き戸等への扉の取替え		番 番 番 番		
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等・装具の着脱 ☐ 履物の着脱 ☐ 出入口の出入 (扉の開閉含む) ☐ 出入口から敷地外までの 屋外移動 ☐ その他()			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ 必要最小限の改修内容として実施 ☐ その他()			() () ☐ 便器の取替え () ()		番 番 番 番		
	その他の活動			☐ できなかったことをできるようにする ☐ 転倒等の防止、安全の確保 ☐ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ 必要最小限の改修内容として実施 ☐ その他()			☐ 滑り防止等のための床材の変更 () () ☐ その他 () () ()		番 番 番 番 番		
記載のポイント		☐ 改善しようとしている動作にチェック ☐ 今回の改修対象になっていない項目にはチェック不要	☐ 生活動作での困りごとや問題点について、その状況や介護の現状を 具体的に 記載各動作(立ち上がり、またぎ等)が、どのように困難なのか具体的に記載) ☐ ①のチェック項目についてより具体的な内容を記載し、利用者の状況が伝わるように記載	☐ 改修目的に該当する項目にチェック	☐ 生活動作での困りごとを改善するために、どのような改修を行うのか、その方針や手段を具体的に記載 ☐ 可能な限り高さや位置等も記載することが望ましい。 (例):床から○センチに手すりを設置し・・・	☐ 様々な角度から検討し、決定した改修内容の項目にチェックし、内容を記載 ☐ 図面・写真及び見積書と一致させるために、番号を付与し、該当する番号を記載					